

令和2年度 フロンティア科「出前講座」

- 1 日 時 令和2年5月29日（金） 13:50～15:50（120分）
- 2 講 師 宮崎市役所 企画政策課 青木幸弘主査 田爪洋平主任主事
- 3 演 題 宮崎市のまちづくり及び地方創生
- 4 感想

1年H組 清水 菜摘

今日の講座を聞いて私も宮崎のために何かできることをしたいと思いました。宮崎の人口減少、少子高齢化が進むことがここまで問題だとは知りませんでした。特に15～24歳の学生が宮崎から県外に出ているということで様々な取り組みを市役所の方々はして下さっていることが分かりました。宮崎市や自分の育った場所で建物の老朽化が進んだり有料施設が増えるなど活性化を失うことになるのはとても悲しいことだと思いました。私は一度県外で学び、宮崎で就職したいと考えています。市役所の方が宮崎市の人口減少を食い止めるために就職しやすい環境を整えたり、人口を増やすために女性が働きやすい環境をつくるなどの取組を行っているのを聞き、とてもいいなと思いました。これから宮崎に住みたいと思う人を増やすため、他ではない宮崎ならではの魅力を発信していくことが大事になってくるのだなと思いました。また、人口減少によりロボットなどの機械に頼るようになることを知り、少しさみしく思いました。宮崎市の発展のため、宮崎市以外の地域の取り組みについて知り、他とは違う取り組みで宮崎をアピールしていく必要があると分かりました。私ももっと宮崎県や宮崎市のことについて知り、課題について考えたり、魅力を発見できるように興味関心を持つようにしたいと思いました。

1年I組 萱嶋 亜佳里

私は人口減少の課題について県の役員や市の役員がどうにかしてくれるだろう、県や市から要請がきたらそれどおりに動くだけでいいと考えていました。今考えると、ありえないと思いますが、正直な思いです。でも、具体的に宮崎市がどういう取り組みをしているのかを知って、何もしてないのは自分自身なんだと実感しました。人口減少は宮崎市だけでなく、県、国の問題でもあるのでもし県外に出ることがあっても、自分たちが考えなければならないことは同じです。しっかり課題と向き合っていくために自分が知った、市が取り組んでいることを身のまわりの人にちゃんと伝えることから始めます。自分の中で、こうなってほしいという市の理想がないわけではないですが、なかなか意見を出すところまでできません。それは普段から自分の考えを言葉にして伝えるという習慣がないからであり、ものごとに対して自分の考えをいつも持っているかどうか定かではありません。なんとなく物事に向き合っているという感じですか。きっと多くの人がそうだと思うし、そういう人が多いからなんとなく県外へ進学・就職する人も多いのだと思います。今の自分に周りの人を変えられるような影響を与えられるような力はないけれど、講座を受けて自分を見つめてみて、自分だけでも物事と正しく向き合えるようになりたいと感じました。物事と向き合う前に身のまわりの整理整頓や生活習慣などから1つ1つ片付けていきます。人口の課題から生活習慣にどう繋がるのかは自分でも分かりませんが、大きなことと向き合う前に小さいことを1つ1つ片付けて誰かにいい影響を与えられるようになってから人に意見を話す人になります。

